

2026年国際大会の派遣基準（2025年6月16日版）

【派遣の前提条件】

- (1) 国際派遣の予選大会は、2025年11月開催予定のスズキジャパンカップ（SJC）及び2026年1月開催予定のJOC袋井大会（JOC）とし、それぞれの大会で以下の基準を満たす選手を派遣対象とする。
- (2) 2026年の強化対象部門は、シニア・ジュニア/ユース共に、男女シングル・ミックスペア・トリオ・グループとする。
- (3) 選手は、日本国籍を有するJAF登録選手であり、大会主催者が定めるライセンス等を有すること。
- (4) 帯同コーチは、TA又はコーチ4の資格とFIGコーチIDを有すること。帯同コーチは複数選手、複数部門の帯同を兼ねることが可能とする。
- (5) 派遣団は、「国際大会及び海外合宿等への派遣規程」に違反していないこと。

1. 《公式派遣》スズキワールドカップエアロビック世界大会（2026年4月予定）

【方針】 ・シニア、ジュニア/ユースとも国際大会出場を目的として選手のモチベーションを維持する大会と位置付け、シニアの「難度持ち点」やジュニア/ユースの「基準点」は設けない。

区分	部門	最大派遣数	派遣対象選手 基準点	辞退時の扱い
シニア	男子シングル	2	SJC1位、2位（16.0点以上）	・基準点以上ならSJCの3位まで繰り下げ派遣
	女子シングル	2		
	ミックスペア	2	SJC1位、2位（15.5点以上）	
	トリオ	2	SJC1位、2位（15.0点以上）	
	グループ	2		
ジュニア/ユース	男子シングル	2	SJC1位、JOC1位（基準点ナシ）	・SJC1位が辞退した場合、JOC1位、2位を派遣
	女子シングル	2		・JOC1位が辞退した場合、SJC1位とJOC2位を派遣
	トリオ	2		・SJC1位、JOC1位が同一選手だった場合、SJC1位とJOC2位を派遣
	ミックスペア	2	JOC1位、2位（基準点ナシ）	・JOC2位が辞退した場合は、JOC3位まで繰り下げ派遣
				・JOC3位まで繰り下げ派遣

2. 《公式派遣》FIGエアロビック世界選手権大会／ジュニア世界選手権大会／世界ユース競技会（2026年9月予定）

- 【方針】
- ・エアロビック世界選手権大会は、FIG主催の最高峰の大会のため、原則として日本代表にふさわしい決勝進出可能なレベルのシニア日本代表選手を派遣する。
 - ・ジュニア/ユースは、シニア同様に決勝進出可能なレベルの日本代表選手の派遣を原則とするが、将来性のある選手については選手育成・強化の観点から、別途に派遣枠/対象を検討する。
 - ・SJCのシニア公式派遣対象の部門において、上記の派遣基準を満たす選手（組）が1人もいなかった場合、その他の大会で派遣基準を満たす成績の選手（組）を国際大会派遣会議が選出し派遣できるものとする。

【条件】 ・「基準点」と同時に「難度持ち点」をクリアした選手とする。（ダンス部門は基準点のみとする）

※1 SWC2025 予選第9位のスコアを根拠とした。

※2 SWC2025 予選第9位の主任減点を考慮し、予選第8位のスコアを根拠とした。

※3 SWC2025 予選第8位のスコアを根拠とした。

※4 「難度持ち点」とは、難度審判員が審査対象のエレメントに対して行う評価結果としての難度点とは別に、選手が実施した難度審査対象のすべてのエレメントの難度評価点の合計点をいう。SWC2025において決勝進出をした演技を元にしたもので、選手構成により、以下のように基準が変わる。

①男子のみ ②男女混合 ③女子のみ

区分	部門	最大派遣数	派遣対象選手 基準点	辞退時の扱い
シニア	男子シングル	3	SJC1位、2位、3位 (18.8点以上※1) 【難度持ち点 6.3点以上】	・基準点以上ならSJC3位まで繰り下げ派遣
	女子シングル	3	SJC1位、2位、3位 (18.5点以上※1) 【難度持ち点 6.0点以上】	
	ミックスペア	2	SJC1位、2位、3位 (18.3点以上※1) 【難度持ち点 5.6点以上】	
	トリオ	2	SJC1位、2位 (18.0点以上※2) 【難度持ち点(※4) ① 5.8点以上 / ② 5.6点以上 / ③ 5.4点以上】	
	グループ	1	SJC1位 (17.6点以上※3) 【難度持ち点(※4) ① 5.6点以上 / ② 5.4点以上 / ③ 5.2点以上】	
	ダンス	1	SJC1位 (16.2点以上)	
ジュニア	男子シングル	3	SJC1位、JOC1位、JOC2位 (17.2点以上) 【難度持ち点 4.5点以上】	・SJC1位が辞退した場合は、基準点以上ならJOC1位、2位、3位を派遣 ・JOC1位が辞退した場合、基準点以上ならSJC1位とJOC2位、3位を派遣
	女子シングル	3		
	トリオ	2	SJC1位、JOC1位 (16.8点以上) 【難度持ち点 4.3点以上】	・SJC1位が辞退した場合、基準点以上ならJOC1位、2位を派遣 ・JOC1位が辞退した場合、基準点以上ならSJC1位とJOC2位を派遣 ・SJC1位、JOC1位が同一選手だった場合、基準点以上ならSJC1位とJOC2位を派遣 ・基準点以上ならJOC3位まで繰り下げ派遣
	ミックスペア	2	JOC1位、2位 (16.6点以上) 【難度持ち点 4.2点以上】	・基準点以上ならJOC3位まで繰り下げ派遣
	グループ	1	SJC1位 (16.5点以上) 【難度持ち点 4.0点以上】	・SJC1位が辞退した場合は、基準点以上ならSJC3位まで繰り下げ派遣
ユース	男子シングル	3	SJC1位、JOC1位、JOC2位 (16.2点以上) 【難度持ち点 4.0点以上】	・SJC1位が辞退した場合は、基準点以上ならJOC1位、2位、3位を派遣 ・JOC1位が辞退した場合、基準点以上ならSJC1位とJOC2位、3位を派遣
	女子シングル	3	SJC1位、JOC1位、JOC2位 (16.5点以上) 【難度持ち点 4.0点以上】	
	トリオ	2	SJC1位、JOC1位 (16.2点以上) 【難度持ち点 3.6点以上】	・SJC1位が辞退した場合、基準点以上ならJOC1位、2位を派遣 ・JOC1位が辞退した場合、基準点以上ならSJC1位とJOC2位を派遣 ・SJC1位、JOC1位が同一選手だった場合、基準点以上ならSJC1位とJOC2位を派遣 ・基準点以上ならJOC3位まで繰り下げ派遣
	ミックスペア	2	JOC1位、2位 (16.0点以上) 【難度持ち点 3.5点以上】	・基準点以上ならJOC3位まで繰り下げ派遣
	グループ	1	SJC1位 (16.0点以上) 【難度持ち点 3.3点以上】	・SJC1位が辞退した場合は、基準点以上ならSJC3位まで繰り下げ派遣

3. 《公式派遣》アジア選手権大会

- 【方針】 ・シニアは、FIG世界選手権大会より基準点を低く設定し、アジア圏内で入賞可能な日本代表選手を派遣する。
 ・ジュニア/ユースは、スズキワールドカップ以外の国際大会参加の機会を得る大会とする。

区分	部門	最大派遣数	派遣対象選手 基準点	辞退時の扱い
シニア	男子シングル	2	SJC1位、2位 (17.8点以上)	・基準点以上ならSJC3位まで繰り下げ派遣
	女子シングル	2	SJC1位、2位 (17.5点以上)	
	ミックスペア	2	SJC1位、2位 (17.3点以上)	
	トリオ	2	SJC1位、2位 (17.0点以上)	
	グループ	1	SJC1位 (16.6点以上)	
	ダンス	1	SJC1位 (16.0点以上)	
ジュニア	男子シングル	2	2026年FIGジュニア世界選手権大会に参加した選手を除くSJC1位、JOC1位 (16.7点以上)	・SJC1位が辞退した場合、基準点以上ならJOC1位、2位を派遣
	女子シングル	2		・JOC1位が辞退した場合、基準点以上ならSJC1位とJOC2位を派遣
	トリオ	2	2026年FIGジュニア世界選手権大会に参加した選手を除くSJC1位、JOC1位 (16.3点以上)	・SJC1位、JOC1位が同一選手だった場合、基準点以上ならSJC1位とJOC2位を派遣 ・JOC2位が辞退した場合は、基準点以上ならJOC6位まで繰り下げ派遣
	ミックスペア	2	2026年FIGジュニア世界選手権大会に参加した選手を除くJOC1位、2位 (16.1点以上)	・基準点以上ならJOC6位まで繰り下げ派遣
	グループ	1	2026年FIGジュニア世界選手権大会に参加した選手を除くJOC1位 (16.0点以上)	・SJC1位が辞退した場合は、基準点以上ならSJC6位まで繰り下げ派遣
ユース	男子シングル	2	2026年FIG世界ユース競技会に参加した選手を除くSJC1位、JOC1位 (15.7点以上)	・SJC1位が辞退した場合、基準点以上ならJOC1位、2位を派遣 ・JOC1位が辞退した場合、基準点以上ならSJC1位とJOC2位を派遣
	女子シングル	2	2026年FIG世界ユース競技会に参加した選手を除くSJC1位、JOC1位 (16.0点以上)	・SJC1位、JOC1位が同一選手だった場合、基準点以上ならSJC1位とJOC2位を派遣
	トリオ	2	2026年FIG世界ユース競技会に参加した選手を除くSJC1位、JOC1位 (15.7点以上)	・JOC2位が辞退した場合は、基準点以上ならJOC6位まで繰り下げ派遣
	ミックスペア	2	2026年FIG世界ユース競技会に参加した選手を除くJOC1位、2位 (15.5点以上)	・基準点以上ならJOC6位まで繰り下げ派遣
	グループ	1	2026年FIG世界ユース競技会に参加した選手を除くSJC1位 (15.5点以上)	・SJC1位が辞退した場合は、基準点以上ならSJC6位まで繰り下げ派遣

4. FIGワールドカップシリーズ (スズキワールドカップを除く)

- 【方針】 ・基準点をクリアしたSJC上位選手が国際大会に挑戦できる大会として、対象選手が辞退時の派遣枠を拡大する。
 ・ジュニア/ユースは、当面派遣しない。

区分	部門	最大派遣数	派遣対象選手 基準点	辞退時の扱い
シニア	男子シングル	2	SJC1位、2位 (16.0点以上)	・基準点以上ならSJC6位まで繰り下げ派遣
	女子シングル	2		
	ミックスペア	2	SJC1位、2位 (15.5点以上)	・基準点以上ならSJC3位まで繰り下げ派遣
	トリオ	2		
	グループ	1	SJC1位 (15.0点以上)	

5. 特記事項（派遣大会共通）

①前項の派遣基準に加え、特段の理由があれば国際大会派遣会議が派遣を推薦することができる。

（例）シニアトリオ部門で派遣対象となった選手が、上位選手の辞退によりシングル部門での繰り下げ派遣対象となった。僅差（0.0を超えて0.3程度）で基準点に達しなかったため本来は出場資格がなかったがトリオ部門と合わせて派遣とする等

②派遣大会が「スズキワールドカップ」と「スズキジャパンカップ」の開催の前後3週間以内で開催される場合、原則として派遣しない。

③派遣辞退により繰り下げの対象になっても、FIGライセンスの取得が間に合わない、もしくは帯同コーチのFIGコーチIDの取得が間に合わない場合は派遣しない。

④選考大会終了後、トリオ部門（1名）とグループ部門（2名）のメンバー変更を認める。ただし、スズキワールドカップ大会に限り、これとは別にリザーブ登録ができる。

⑤選考大会終了後、ミックスペア部門のメンバー変更は認めない。

⑥派遣先の安全性の確保が難しい場合や、経済的・人的資源の確保が困難な場合など、社会的情勢によっては国際派遣が中止となることがある。